

2009年ブザンソン国際指揮者コンクールの覇者で、スイス・ロマン管首席客演指揮者、日本フィル正指揮者など国内外で活躍する期待の新星、山田和樹が登場！
 ベートーヴェンにも積極的に取り組む日本を代表するピアニスト仲道郁代の「皇帝」とともに、ドイツ・ロマン派音楽の傑作シューマンの交響曲「春」で、心ときめく新春を！



©鶴芳則

指揮 山田 和樹 Conductor: Kazuki YAMADA

1979年、神奈川県生まれ。東京藝術大学指揮科卒業。指揮法を松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。2009年、第51回ブザンソン国際指揮者コンクールに優勝、併せて聴衆賞も獲得。ただちにモントルーヴェヴィエ音楽祭にてBBC響を指揮してヨーロッパデビュー。同年、ミシェル・プラツソンの代役でパリ管を指揮、すぐに再演が決定する。2010年には、小澤征爾氏の指名代役として、カザルスホールでの演奏会、スイス国際音楽アカデミーにて指揮したほか、小澤氏の推薦により、サイトウ・キネン・オーケストラを指揮、好評を博した。2011年、出光音楽賞受賞。2012年、渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。これまでに、NHK響をはじめとする日本国内主要オーケストラ、BBC響、イギリス室内管、パリ管、イルド・フランス国立管、スイス・ロマン管、ローザヌス室内管、ベルリン放送響、フランクフルト放送響、ドレスデン・フィル、ワイマール歌劇場管、マルメ響、サンクトペテルブルグ・フィルなどへ客演。また、パート・キッシンゲン音楽祭、モンペリエ音楽祭、ブザンソン国際音楽祭など、ヨーロッパの音楽祭への出演も多数。共演したソリストには、ヴァレリ・レービン、イザベル・ファウスト、堀米ゆず子、諏訪内晶子、庄司紗矢香、ボリス・ベレゾフスキー、シブリアン・カツァリス、ファジル・サイ、小菅優などが挙げられる。現在、スイス・ロマン管弦楽団首席客演指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、横浜シフォニエッタ音楽監督、オーケストラ・アンサンブル金沢ミュージック・パートナー、仙台フィルハーモニー管弦楽団ミュージック・パートナー、東京混声合唱団レジデンシャル・コンダクター。ベルリン在住。2012年8月には、小澤征爾氏の代役としてサイトウ・キネン・フェスティバル松本でのオペラ公演(オネゲル作曲「火刑台上のジャンヌ・ダルク」)、サントリー芸術財団サマーフェスティバルのオペラ公演(クセナキス作曲「オレステイア三部作」)の両公演にて、念願のオペラデビューを果たした。今後も、フィルハーモニア管、トゥールーズ・キャピトル管、パリ室内管、ベルリン放送響、ケルン放送響、ロイヤル・ストックホルム・フィル、エーテボリ響などへの客演が決定し、2013年12月には、ウィーン・デビュー(ウィーン・トーンクンストラ管)も予定されている。



©Kiyotaka Saito

ピアノ 仲道 郁代 Piano: Ikuyo NAKAMICHI

4歳からピアノをはじめ、桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位を受賞し、多数の受賞を経て、1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。温かい音色と叙情性、卓越した音楽性が高く評価され、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活躍している。これまでに日本の主要オーケストラと共演した他、海外のオーケストラとの共演も数多く、マゼール指揮ピッツパグ響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ズッカーマン指揮ECO、ブルゴス指揮ベルリン放送響、パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーなどと共演。各地でリサイタルも活発に行っており、近年は「ショパン鍵盤のミステリー」企画、「モーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲演奏会」シリーズが好評のうちに完結し、新たに「ベートーヴェン～鍵盤の宇宙～」などが進行している。他にも、彼女の多彩なアイデアや情熱から生まれた企画も多く、子どもたちに音楽との幸せな出会いをして欲しいとスタートした「光のこどもたち」、今秋から始まる「不思議ボール」など、魅力的な内容とともに豊かな人間性がますます多くのファンを魅了している。レコーディングはソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び、多数のCDをリリース。ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第30,31,32番は2007年度第45回レコードアカデミー賞(器楽部門)を受賞。著作には「CDでわかるピアノの名器と名曲」、「CDでわかる ショパン 鍵盤のミステリー」、「ベートーヴェン 鍵盤の宇宙」(ナツメ社刊)等がある。またNHK教育テレビ「あなたもアーティスト」仲道郁代のピアノ初心者にも弾ける「ショパン」、NHK「名曲探偵アマテウス」などのテレビ番組、新聞、雑誌、ラジオなどへのメディアにも多く出演。音楽の素晴らしさを広く、深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。2003年からは、地域社会の活性化と音楽文化の発展を目指し、大阪音楽大学特任教授、財団法人地域創造理事、2012年からは、桐朋学園大学教授としても、積極的に活動している。
 オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」、「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、09年は「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスクバリー」など新企画で注目を集めた。10年11月広上淳一指揮による定期演奏会のライブ録音CD第1弾を発売し、12年2月にはライブ録音CD第2弾を発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

次回予告

2012年 10/28(日)から発売!

第564回定期演奏会

驚異のトランペッター、ルベン・シメオVS
 広上淳一のタクトが唸る、熱狂の「幻想交響曲」!

日時: 2013年1月25日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール
 指揮: 広上 淳一(常任指揮者)
 独奏: ルベン・シメオ(トランペット)
 曲目: ハイドン: トランペット協奏曲変ホ長調Hob.VIc:1
 ベルリオーズ: 幻想交響曲op.14

入 場 料

◎¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

次回予告

2012年 11/30(金)から発売!

第565回定期演奏会

♪ウォルトン没後30年
 イギリス音楽の栄華、リーパーのウォルトン
 & 小曾根真 meets ショスタコーヴィチ!

日時: 2013年2月16日(土) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール
 指揮: エイドリアン・リーパー
 独奏: 小曾根 真(ピアノ)
 曲目: ストラヴィンスキー: 管楽器のための交響曲(1920年版)
 ショスタコーヴィチ: ピアノ協奏曲第1番八短調op.35
 ウォルトン: 交響曲第1番変口短調

入 場 料

◎¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)



©K.Miura



©Yuji Hori



©Kiyotaka Saito